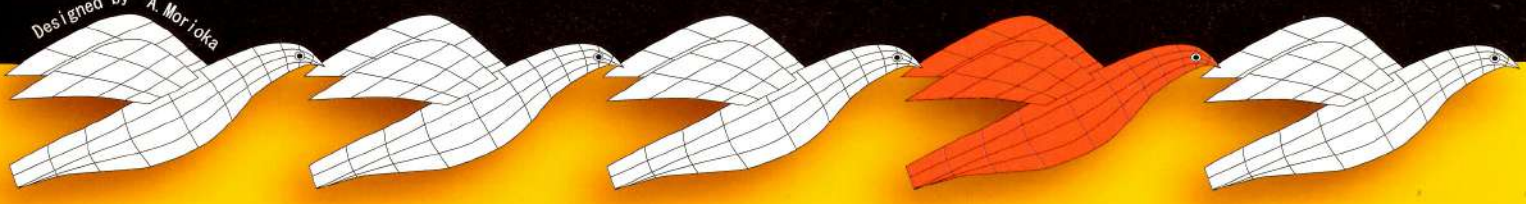


- 桑原洋明/「驚異なラルゲットとアレグロ」/本邦初演
- ウィリアム・ウォルトン/「エルガー」/ハワース編/
- 「スピットファイアー」フレリウード
- エリック・コーエン/「ウェスタン」ファンファーレ
- A.ホルホー/「R」ハーヴェイ編/
- 「フェアリー」ラウンド」組曲より
- 松任谷由実/大塚実編/「橋渡を渡る風」
- カレン・ニコラ/「大内」編/
- 「ムーンライト」セシナーレ
- イーゴリ・ストラヴィンスキー/
- 森岡篤編/「火の鳥」組曲
- 他

- trumpet/ 磯崎直人 大内仁 北村和弘 久保正彰
- horn/ 杉山雅彦 武内昌徳 坪井賢一 山崎孝雄
- trombone/ 川俣裕章 塚田義典 塚尾達也 内田豊一 小倉啓美
- tuba/ 酒井忠雄 滝口弘光 原田京一
- percussion/ euchronium/ 新井英介 牛野瓜一郎
- flute/ 広瀬隆一 新谷謙昭
- oboe/ 関谷謙昭
- clarinet/ 吉田史朗
- bassoon/ 末村洋子
- 種島由紀夫

Designed by A. Morioka



# ワセキン

早稲田の杜金管合奏団  
第6回演奏会  
指揮 森岡 篤

2006年3月19日(日)  
開場 13:30 / 開演 14:00  
角筈区民ホール

入場無料

お問合せ 赤尾達也 090-8313-3897  
早稲田の杜金管合奏団 URL  
<http://www5b.biglobe.ne.jp/~musica/w-king/>

角筈区民センター3階  
新宿区西新宿4丁目33番7号  
一JR新宿駅西口から  
中野駅行又は中野車庫行(京王デパート前20番バス乗場)  
十二社池の上下車 徒歩3分  
新都心循環バス(京王デパート前21番バス乗場)  
パークハイアット東京前下車 徒歩1分



# the 6<sup>th</sup> WASEKING CONCERT

# 」 』 Programme 』 」

## <第Ⅰ部>

1. 「スピットファイア」より 前奏曲 (W.ウォルトン/英 1902-1983 E.ハワース編曲)
2. 「ウェスタン・ファンファーレ」 (E.エワーゼン/米 1954-)
3. 「フェアリー・ラウンド」組曲より  
①ザ・フェアリー・ラウンド ②ザ・ハニー・サックル ③ラスト・ウィル・アンド・テストメント ④ガリアード ⑤ザ・ナイト・ウォッチ  
(A.ホルボーン/英 1545?-1602 R.ハーヴェイ編曲)
4. トロンボーン四重奏「厳肅なラルゲットとアレグロ」(桑原洋明/日 1941-)

## <第Ⅱ部>

5. 「ムーンライト・セレナーデ」 (G.ミラー/米 1904-1944 大内仁編曲)
6. 「昔の彼に会うのなら」 (松任谷由実/日 1954- 大原実編曲)
7. 「埠頭を渡る風」 (松任谷由実 大原実編曲)
8. トロンボーン四重奏「ゴスペル・タイム」 (J.アグレイル/米 1948-)
9. 「ナイト・オン・ザ・ディスコ・マウンテン」 (M.ムソルグスキー/露 1839-1881 大原実編曲)

## <第Ⅲ部>

10. バレエ音楽「火の鳥」組曲 1919 年版  
①序奏～火の鳥の踊り～火の鳥のヴァリアシオン ②王女たちのロンド ③カステイの凶暴な踊り ④子守歌 ⑤フィナーレ  
(I.ストラヴィンスキー/米 1882-1971 森岡篤編曲)

## [曲目解説]

1. 20 世紀英国の代表的な作曲家、ウィリアム・ウォルトンの映画音楽です。「スピットファイア」は 1942 年に製作された映画で、有名な英国の戦闘機スピットファイアの設計者、R.J.ミッチェルを主人公にして、レスリー・ハワードが主演・監督したものです。日本では公開されていません。原曲の管弦楽をハワースが金管用にアレンジしました。
2. 米国の作曲家エリック・エワーゼンによるファンファーレです。「ウェスタン」とは、西部劇のことではなくて、米国サンタバーバラに所在するザ・ミュージック・アカデミー・オブ・ザ・ウエスト(西部音楽院)の創立 50 周年のためにエワーゼンが委嘱された作品です。
3. アンソニー・ホルボーンは 16 世紀エリザベス朝英国の作曲家です。イタリアのガブリエリとほぼ同世代です。本作はリュートのための曲集をロンドン・プラスのロジャー・ハーヴェイが金管合奏用に編曲したものです。優雅な舞曲をお楽しみください。各曲の題名をあえて翻訳すると、①妖精の円舞 ②ハニー・サックル(スイカズラ科の花) ③遺言状 ④ガリアード(3 拍子の跳ね踊り) ⑤夜警
4. 桑原洋明氏によるトロンボーン四重奏の新作です。本日が初演となります。世界初演ですぞ。本日のために 4 人の奏者は週末をほとんどつぶして練習に励みました。なお、作曲者によるプログラムノート(最終ページ)をお読みくださいませ。
5. ご存知永遠の名曲です。グレン・ミラーは戦前のビッグバンド黎明期を代表する音楽家です。なかでも「ムーンライト・セレナーデ」は名曲中の名曲。
6. ワセキンでは毎回演奏するユーミンの作品から、今回は 2 曲演奏します。まずは「昔の彼に会うのなら」。1982 年のアルバム「パールピアス」に収録された作品。「昔の彼に会うのなら まぶしい午後の街がいい・・・」という歌。覚えてるかな。
7. ユーミンをもう 1 曲。「埠頭を渡る風」は、1978 年にシングルで登場した作品です。「埠頭を渡る風を見たのは いくつか二人がただの友達だった日ね」と、いきなり顔に風が吹き付けるような見事な情景から歌が始まります。

## [演奏者]

Tp:北村・武内・久保・坪井・磯崎・大内・杉山  
Hr:川俣・塚田・渡辺・辻村/Tb:内田・小倉・酒井/Tub:新井/Perc.:新谷・広瀬

Tp:北村・磯崎・山瀬・杉山/Hr:渡辺・辻村・塚田・川俣/Tb:小倉・赤尾・原田・酒井/BH 滝口/Euph:山田/Tub:青木/Perc.:新谷

Tp:坪井・武内・山瀬・大内/Hr:辻村  
Tb:内田・原田・滝口・酒井/Tub:新井  
Perc.:広瀬

Tb:原田・内田・赤尾・酒井

Tp:坪井・山瀬・磯崎/Flug:大内・杉山/  
Euph:山田/BH:滝口/Hr:塚田・渡辺・川俣・辻村/Tb:赤尾・原田・酒井/Tub:青木/Perc.:広瀬

Tp:磯崎・武内・久保/Flug:大内/Hr:川俣・渡辺・辻村/Tb:内田・赤尾・原田・小倉/  
Euph:山田/Tub:新井・青木/Perc.:広瀬

Tp:磯崎・北村・武内・久保/Flug:大内/Hr:渡辺・川俣・辻村/Tb:内田・赤尾・原田・小倉/  
Euph:山田/Tub:新井・青木/Perc.:広瀬

8. トロンボーン四重奏による楽しい作品。作曲者のジェフリー・アグレルは米国のホルン奏者で、吹奏楽や管弦楽で活躍する一方、アイオワ大学で教鞭をとっています。

Tb: 小倉・内田・赤尾・酒井

9. ムソルグスキーのピアノ曲をリムスキー=ニコルサコフが管弦楽に編曲し、それを当団の大原実が金管合奏用ディスク風にアレンジしたものです。

Tp: 北村・坪井・山瀬・久保・武内・磯崎・杉山  
Flug: 大内/Hr: 塚田・辻村・渡辺・川俣  
/Tb: 赤尾・原田・内田・小倉・酒井/BH:  
滝口/Euph: 山田/Tub: 新井・青木/  
Perc.: 新谷・広瀬

10. 1910年6月25日にパリ・オペラ座で初演されたストラヴィンスキーのバレエ音楽です。本日は当団の森岡篤が管弦楽用の1919年版組曲を、金管楽器、木管楽器、打楽器のために編曲したものです。大管弦楽から小編成の管楽合奏に変身しましたが、省略はありません。管弦楽よりもシャープに聞こえますかどうか、練習の成果をお聞きください。なお、客演していただく5人の木管奏者のみなさま、ありがとうございます。

Tp: 北村・武内・山瀬/Flug: 大内・杉山/Hr:  
渡辺・辻村・川俣・塚田/Tb: 小倉・原田・  
酒井/BH: 滝口/Euph: 山田/Tub: 新井・  
青木/Perc.: 新谷・広瀬・赤尾・坪井/FI:  
関谷・村田/Ob: 吉田/Cl: 末村/Fg: 種色

## Members

[Music Director] 森岡篤

[Master of Ceremonies & Trumpet] 久保正彰  
BACH/B,  
YAMAHA/D-Es

[Programme Format] 矢澤元

[Arranger] 大原実  
FINALE/  
2001

坪井賢一  
BACH/ D-Es,  
YAMAHA-EM/B  
Editor

杉山雅彦  
BACH/B,  
YAMAHA/FL

磯崎直人  
SCHILKE/B

山瀬幸雄  
MARCATO /B

大内仁  
BACH/C,  
YAMAHA/FL

[Trombone] 内田憲一  
THEIN

北村和弘  
BACH/C & D-Es,  
HOLTON/B,  
YAMAHA/PICC.

武内昌徳  
BACH/B

赤尾達也  
BACH

酒井忠雄  
KROMAT/  
BASS

川俣裕章  
ALEXANDER/  
103

塚田義昌  
E.SCHMID

原田京一  
SCHAGERL

小倉啓美  
COURTOIS

渡辺勇次  
ALEXANDER/  
103

辻村憲治  
ALEXANDER  
200

[Euphonium] 山田徹  
WILSON

[Horn] 新井英介  
BESSON/Es

[Percussion] 新谷仁奈  
YAMAHA

滝口弘光  
ALEXANDER/  
150  
BACH

青木祐介  
B&S 3198/C

広瀬健二  
SONOR,  
YAMAHA

[Baritone Horn & Trombone] 関谷憲昭  
Flute & Picc./ 村田暁俊  
Oboe/ 吉田史朗  
Clarinet/ 末村洋子  
Bassoon/ 種色由紀夫

[Receptionist & DTP] 原田小都子

[Tuba]

桑原洋明

この曲名は作曲後につけたもので、それがなくなった概念内容を表現しようと思って作曲したわけではありません。曲名付けとは応々にしてそのような経緯を経るものと思われませんが、それに評論家や愛好家、ひいては演奏家すらひどく繫縛され、ましてや作曲家をも裏切ることになるからです。なぜなら作曲家も自分の曲の解釈を誤りえるからです。

私がこの曲を作るにあたって一番苦労したのが、譜めくりと唾抜きの休みです。4本しか楽器がなく、なかなか十分な休みが取れません。といって唾抜きの場合、それをしませんが吹き難くなりますし、ましてや、あのドボドボした音になるのも困りものです。話としては、ここまでならいいのです。ただ私の疑念はその次の段階に進みます。さて抜いた唾はどうなるのかと。いや、トロンボーン四重奏ぐらいではあまり気になりません。ましてワセキンのようなアンサンブルぐらいなら、まあ、目をつむりましょう。だが金管バンドのことを想像してみてください。その唾の行方に戦慄すら覚えます。

そんなわけである時、金管バンドの奏者にくだんの件を尋ねてみました。答えは、「いや、床がすってくれるよ」でした。私はロマン主義者ではないので、この現実を目をつむることは出来ません。

『美の現場の嘔吐すべき現実に』

この曲を初演して下さる4人の奏者に心より謝意を呈します。また、この曲の作曲の端緒が、この四重奏団の好演にあったことも付記します。

【編集後記】

このプログラム、よくできているでしょ？デザインフォーマットは英国在住の Hr 矢澤元によるもので、DTP は原田小都子によります。ワタクシはフォーマットの上に書き散らしているだけであります。今回はトロンボーン四重奏初演作品を託して下さった桑原洋明氏より原稿をいただきました。ありがとうございました。

さて、1997年の金融危機をきっかけに誕生したワセキン（詳細は HP <http://www5b.biglobe.ne.jp/~musica/w-king/> 参照）は、ついに6回目の演奏会を開くにいたりしました。平均年齢も50代半ば、いよいよ活動は激しさを増しております。次々に新しい楽器を購入する Tb 奏者、海外進出をもくろむ Tb 奏者、いくつもオケを掛け持ちする Tb 奏者、通勤電車の中で暗譜している Tb 奏者など、あれ？ みんなトロンボーンだ。本日は Tb 四重奏2曲、猛練習の成果をご披露いたします。お楽しみにい。

(正常なラッパ吹き・坪井賢一)

# 応援します。あなたの専門店「ダク」

Musical Instruments Shop

**DAC**

管楽器はダクで。

お問合せ先 **TEL (03) 3361-2211**  
FAX (03) 3361-4300  
Eメール: info@kkdac.co.jp

営業時間 10:30~19:00 (※日祝日は18:00まで)  
●ダクの定休日は毎月第1・第3水曜日です。(ただし祝日を除く)

株式会社ダク 東京都新宿区百人町2-8-9 (〒169-0073)  
ダクのホームページ <http://www.kkdac.co.jp/>



ダクの運営するミュージックスクール  
クラシックコースとポピュラー&ジャズコース  
全17パート・随時生徒募集中!

MUSIC SCHOOL  
**Da Capo**  
ダカーポ

●入会のお問合せは初回に  
**TEL (03) 3361-4110**  
〒169-0073 東京都新宿区百人町2-6-4  
※音楽用品店「ダク」でもお問合せを受付ております。